

# 2020年8月1日(土) 夏の天体観察教室

今年は梅雨明けが遅く、この行事はもともと7月24日に予定していたのが、悪天候のため、8月1日に延期になりました。7月30日に梅雨明けしてからは好天が続く、当日もますますの天候。山口市の小学校が夏休みに入って初めての週末、宇部天文同好会の方々を講師にお招きし、夏の星空を観察しました。



開始前の日没直前には、何と太陽の両サイドに虹が！これは「幻日」と呼ばれる現象です。暑い時期には珍しいようで、吉兆でしょうか？



宇部天文同好会からは5名お越しいただきました。望遠鏡を3台用意して、開始前にセッティングします。



初めのレクチャーは、いつもは工作を行うレクチャーホールに集まってもらうのですが、今年は密を避けるために観察ホールで行います。



資料の説明の後には、宇部天文同好会会長の久幸さんによる星の話です。7月中旬に明るく見えたネオワイス彗星の話もありました。



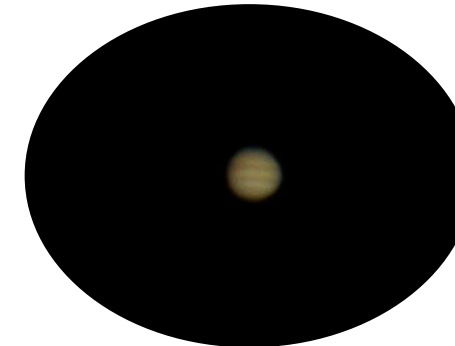
当日は月が明るく、存在感は絶大。低倍率のフィールドスコープで十分です。



満月に近いので、低倍率で見るとまぶしく、しばらく目がくらみます。



東の空に並んでいる木星と土星を望遠鏡で観察します。



木星は縞模様がはっきり見え、周りには衛星も見えました。



見たものをスケッチします。夏休みの宿題にするのでしょうか？



もう1台同じ方角に向けて土星を見てみます。



土星は輪がはっきり！かなり小さいのですが、印象的です。



こちらはパソコンに接続して、モニターで見ることができます。



夏の三大角が見えてきました。1等星を3つ結んだ三角形は七夕でも有名です。



夏の三大角の一つを望遠鏡で見ますが、惑星と違ってただの点です。

**開始当初は雲が多かったのですが、次第に雲が切れて、月、木星、土星、夏の三大角など、主な見どころをじっくりと観察することができました。**